

(第6条関係)

事業計画書

事業名	「認知症に備える」為の啓発活動事業
団体名	介護・認知症の家族と歩む会・松戸

取り組もうとする松戸市のテーマ(課題)	<p>急速な超高齢化により、2025年には認知症患者700万人、軽度認知障者が600万人に達すると報告されています。(厚生労働省研究班)松戸市に於いて平成29年度には要支援・介護の市民は、40～64歳が2,9%、65～74歳が14,1%、75歳以上が82,9%に(いきいき安プランVまつどH27～H29年)</p> <p>「認知症に備える」為の啓発活動は、先ず家族が家族に関心を向け、家族の事を理解する・信頼する。そこから隣近所との信頼関係が出来てくる。血縁・地縁の絆が危うくなっている今日、地域の人々の絆を再生することが我々の活動とまさに合致しています。松戸市が掲げている「互助」の精神の復活を目指す活動を進めていきます。活動の目的を、地域の方々の身近なところで目に見える形～それが(仮)おしゃべり広場です。</p> <p>認知症という、介護を必要とする病気を正面から対峙することが家族の絆、地域の絆の必要性を感じてもらうことから始まります。</p> <p>要支援・介護の後期高齢者の増加は、認知症患者の増加を意味します。このような社会的環境の中で認知症当事者・家族が安心して暮らし続ける為に、当事者・家族の自助を助ける、認知症の正しい理解と情報の提供と、地縁の絆の再構築～互助～の為の、講座・ワークショップ等を通じて情報の共有を図ります。介護する家族、介護する人の意識の転換サポート～「してあげる」～からパートナー～「一緒にする」へ</p>									
事業の目的	<p>認知症の正しい知識の普及、啓発をすることにより認知症になっても、安心して暮らし続けられるようにすることが、この事業の目的です。</p> <p>私達は介護体験者特に認知症家族当事者としての悩み、苦しみを一個人・家族のものとしてせず、より広く多くの方々と共有することで発症した時にも慌てることなく、介護する人も、される人も笑顔で暮せる家族を目指しています。</p>									
事業内容	<p>1 事業内容</p> <p>1: 講座開催 認知症と向き合い、笑顔のある生活を送るために必要な情報の提供する。 座学120分 交流会30分</p> <p>2: ワークショップ開催 生活歴や成育歴等を共感する学習会～かがみ遊び 座学60分 実践90分 他の活動団体の参加を呼びかける。</p> <p>○:(仮)おしゃべり広場 将来の介護に対する不安などを意識している方々が感じている事について話し合う機会を提供 120分程度</p> <p>2 スケジュール</p> <table border="1" data-bbox="510 1982 1380 2110"><thead><tr><th></th><th>具体的な取り組み</th><th>実施体制、対象、場所など</th></tr></thead><tbody><tr><td>4月</td><td>講座</td><td>市民センター等</td></tr><tr><td>5月</td><td>ワークショップ</td><td>市民センター等</td></tr></tbody></table>		具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など	4月	講座	市民センター等	5月	ワークショップ	市民センター等
	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など								
4月	講座	市民センター等								
5月	ワークショップ	市民センター等								

	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>6月</td> <td>講座 (仮) おしゃべり広場</td> <td>市民センター等 ショッピングセンター他</td> </tr> <tr> <td>7月</td> <td>ワークショップ</td> <td>市民センター等</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>講座 (仮) おしゃべり広場</td> <td>市民センター等 ショッピングセンター他</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>ワークショップ</td> <td>市民センター等</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>講座 (仮) おしゃべり広場</td> <td>市民センター等 ショッピングセンター他</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>ワークショップ</td> <td>市民センター等</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>講座 (仮) おしゃべり広場</td> <td>市民センター等 ショッピングセンター他</td> </tr> <tr> <td>1月</td> <td>ワークショップ</td> <td>市民センター等</td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td>講座 (仮) おしゃべり広場</td> <td>市民センター等 ショッピングセンター他</td> </tr> <tr> <td>3月</td> <td>ワークショップ</td> <td>市民センター等</td> </tr> </tbody> </table> <p>講座～認知症を学ぶ ワークショップ～かがみ遊び (仮) おしゃべり広場</p>	6月	講座 (仮) おしゃべり広場	市民センター等 ショッピングセンター他	7月	ワークショップ	市民センター等	8月	講座 (仮) おしゃべり広場	市民センター等 ショッピングセンター他	9月	ワークショップ	市民センター等	10月	講座 (仮) おしゃべり広場	市民センター等 ショッピングセンター他	11月	ワークショップ	市民センター等	12月	講座 (仮) おしゃべり広場	市民センター等 ショッピングセンター他	1月	ワークショップ	市民センター等	2月	講座 (仮) おしゃべり広場	市民センター等 ショッピングセンター他	3月	ワークショップ	市民センター等
6月	講座 (仮) おしゃべり広場	市民センター等 ショッピングセンター他																													
7月	ワークショップ	市民センター等																													
8月	講座 (仮) おしゃべり広場	市民センター等 ショッピングセンター他																													
9月	ワークショップ	市民センター等																													
10月	講座 (仮) おしゃべり広場	市民センター等 ショッピングセンター他																													
11月	ワークショップ	市民センター等																													
12月	講座 (仮) おしゃべり広場	市民センター等 ショッピングセンター他																													
1月	ワークショップ	市民センター等																													
2月	講座 (仮) おしゃべり広場	市民センター等 ショッピングセンター他																													
3月	ワークショップ	市民センター等																													
既存の事業からステップアップする部分 ※ステップアップ助成のみ																															
事業の目標	<p>29年度の活動の成果として、講座・ワークショップ等の参加者100人を目標にします。</p> <p>講座・ワークショップの実施は最低各4回、ショッピングセンターでの「おしゃべり広場」は最低2回の実施を目指します。</p> <p>参加者の中から、地域内で情報発信や収集に積極的に関われる仲間を10人、その中からワークショップや「おしゃべり広場」でファシリテーター的役割のできる5人の人材を確保を目指します。</p> <p>29年度は松戸市社会福祉協議会との連携を積極的に進め、(仮) おしゃべり広場で集まった課題の解決に指導・指示等力を借りる。</p> <p>介護する人も介護される人も笑顔でいられることを目指しています。</p> <p>それが私達の考える、認知症に「備える」為の啓発活動事業の最終目標です。</p>																														
今後の展望	<p>本年度も集合住宅等でのワークショップ等を開催しましたが、ここから情報が拡散し難いと同時に、閉鎖的な空間になりがちですので、今後も積極的に機会をつくりたいと考えています。</p> <p>(仮) おしゃべり広場を定期的(隔月2回)な開催可能な状況を目指します。特定の課題を抱える人への声掛けでなく、気軽に誰もが立ち寄れる「場」を提供したいと考えて、活動します。</p> <p>専門職の伝えたい事と、市民が知りたい事のズレを、積極的に知る機会をつくる事に関わっていきたい。</p>																														

(第6条関係)

事業の予算概要

【収入】※ 事業についての補足書類は添付できません。

(単位：円)

科目		金額	積算内訳
団体	本部事業費	¥ 10,000	拠出金
	支援会費	¥ 5,000	1000円×5人支援会員
	事業収入	¥ 25,000	500円×50人
	自己資金の合計額 (A)	¥ 40,000	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 97,000	
合計額 (C) = (A+B)		¥ 137,000	

【支出】

科目		予算額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 12,000	外部講師 4000円×3人
	印刷製本費	¥ 15,000	チラシ・ポスター・パンフA4 50円/1000枚 A3カラー20円/1枚
	消耗品費	¥ 18,400	紙A4・20000枚A3・300枚 A4/400円/500枚A3/800円/100枚
		¥ 21,000	封筒長形3・500枚 600円/100枚 プリンターインク 1000円×15 薬草茶 3000円
	通信費	¥ 37,200	ハガキ400枚切手200枚
	使用料	¥ 14,400	会場使用料300円×4H×12
対象経費の合計 (D)		¥ 118,000	
その他経費	食糧費	¥ 10,000	会員の昼食代 400円×25人 (延)
	交通費	¥ 9,000	会員の交通費 300円 (往復) * 10人 * 3回
	その他経費の合計 (E)	¥ 19,000	
合計額 (F) = (D+E)		¥ 137,000	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (A) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。